

## ■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	2003年9月2日から2023年8月21日まで
運用方針	マザーファンドへの投資を通じて、主として新興国の政府および政府機関等の発行する米ドル建ての債券を中心に投資を行うことにより、安定的かつ高水準の利息収益の確保と信託財産の長期的な成長をめざして運用を行います。
主要投資対象	当ファンドは以下のマザーファンドを主要投資対象とします。 <b>エマージング債券マザーファンド</b> 新興国の政府および政府機関等の発行する米ドル建ての債券
当ファンドの運用方法	■エマージング債券マザーファンドへの投資を通じて、主として新興国の政府および政府機関等の発行する米ドル建ての債券を中心に投資します。 ■JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル・ダイバーシファイド（円換算ベース）をベンチマークとします。 ■実質外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 ■ティー・ロウ・プライス・インターナショナル・リミテッドの運用ノウハウを活用します。 ■マザーファンドにおける運用指図にかかる権限をティー・ロウ・プライス・インターナショナル・リミテッドへ委託します。
組入制限	当ファンド ■株式への実質投資割合は、転換社債の転換および転換社債型新株予約権付社債の新株予約権行使により取得したものに限り、取得時において信託財産の純資産総額の5%以内とします。 ■外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。 <b>エマージング債券マザーファンド</b> ■株式への投資割合は、転換社債の転換および転換社債型新株予約権付社債の新株予約権行使により取得したものに限り、取得時において信託財産の純資産総額の5%以内とします。 ■外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	■毎月20日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、分配を行います。 ■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益（評価損益を含みません。）等の範囲内とします。 ■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

# エマージング債券ファンド (毎月分配型)

## 【償還 運用報告書(全体版)】

第40作成期（2023年2月21日から2023年8月21日まで）

第 **234** 期 / 第 **235** 期 / 第 **236** 期  
決算日2023年3月20日 決算日2023年4月20日 決算日2023年5月22日

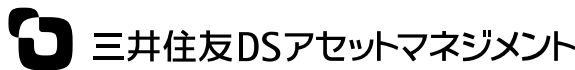
第 **237** 期 / 第 **238** 期 / 第 **239** 期  
決算日2023年6月20日 決算日2023年7月20日 償還日2023年8月21日

## 受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドはマザーファンドへの投資を通じて、主として新興国の政府および政府機関等の発行する米ドル建ての債券を中心に投資を行うことにより、安定的かつ高水準の利息収益の確保と信託財産の長期的な成長をめざして運用を行いました。ここに当作成期の運用状況等をご報告いたします。

皆さまのご愛顧ありがとうございました。



三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1

<https://www.smd-am.co.jp>

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ

お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976

受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

## エマージング債券ファンド（毎月分配型）

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

### ■ 最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			(ベンチマーク) JPMorgan・エマージング・マーケット・ ボンド・インデックス・グローバル・ ダイバーシファイド (円換算ベース)		公 社 債 組 入 比 率	純 資 産 額
	(分配落)	税 込 分 配 金	期 中 騰 落 率		期 中 騰 落 率		
	円	円	%		%	%	百万円
210期 (2021年 3月22日)	6,424	30	1.1	323.50	0.9	94.0	5,612
211期 (2021年 4月20日)	6,506	30	1.7	328.20	1.5	95.5	5,634
212期 (2021年 5月20日)	6,537	30	0.9	331.49	1.0	93.9	5,636
213期 (2021年 6月21日)	6,667	30	2.4	340.05	2.6	93.5	5,722
214期 (2021年 7月20日)	6,594	30	△0.6	339.29	△0.2	93.5	5,608
215期 (2021年 8月20日)	6,582	30	0.3	340.18	0.3	95.2	5,553
216期 (2021年 9月21日)	6,564	30	0.2	340.80	0.2	95.6	5,457
217期 (2021年10月20日)	6,676	30	2.2	349.47	2.5	96.5	5,525
218期 (2021年11月22日)	6,608	30	△0.6	348.16	△0.4	95.5	5,423
219期 (2021年12月20日)	6,520	30	△0.9	345.47	△0.8	94.8	5,340
220期 (2022年 1月20日)	6,311	30	△2.7	336.61	△2.6	93.3	5,104
221期 (2022年 2月21日)	6,247	30	△0.5	334.82	△0.5	94.6	5,014
222期 (2022年 3月22日)	6,172	30	△0.7	327.81	△2.1	95.0	4,901
223期 (2022年 4月20日)	6,425	30	4.6	341.40	4.1	96.0	5,053
224期 (2022年 5月20日)	5,982	30	△6.4	322.44	△5.6	93.1	4,675
225期 (2022年 6月20日)	6,097	30	2.4	332.26	3.0	93.4	4,720
226期 (2022年 7月20日)	5,928	30	△2.3	329.09	△1.0	92.8	4,577
227期 (2022年 8月22日)	6,289	30	6.6	344.75	4.8	93.8	4,796
228期 (2022年 9月20日)	6,295	30	0.6	349.21	1.3	93.5	4,781
229期 (2022年10月20日)	6,091	30	△2.8	341.14	△2.3	93.2	4,605
230期 (2022年11月21日)	6,170	30	1.8	342.02	0.3	91.6	4,643
231期 (2022年12月20日)	6,093	30	△0.8	339.32	△0.8	90.7	4,569
232期 (2023年 1月20日)	5,975	30	△1.4	334.34	△1.5	93.7	4,470
233期 (2023年 2月20日)	6,032	30	1.5	340.04	1.7	94.9	4,448
234期 (2023年 3月20日)	5,876	30	△2.1	334.33	△1.7	93.5	4,314
235期 (2023年 4月20日)	6,025	30	3.0	342.50	2.4	94.4	4,406
236期 (2023年 5月22日)	6,117	30	2.0	349.52	2.0	93.6	4,424
237期 (2023年 6月20日)	6,382	30	4.8	368.23	5.4	95.2	4,400
238期 (2023年 7月20日)	6,333	30	△0.3	369.84	0.4	0.7	4,306
(償 還 日)	(償還価額)						
239期 (2023年 8月21日)	6,487.00	0	2.4	374.83	1.3	—	3,787

※基準価額の騰落率は分配金込み。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

※ベンチマークは、当報告書作成時に知りえた情報をもとに当社が独自に計算し、設定時を100として、指数化しています。なお、基準価額の反映を考慮した日付の値を使用しています。

※指数の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

エマージング債券ファンド（毎月分配型）

■ 当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基準価額		（ベンチマーク） JPモルガン・エマージング・マーケット・ ボンド・インデックス・グローバル・ ダイバーシファイド（円換算ベース）		公 社 債 組 入 比 率
		騰 落 率	騰 落 率			
第234期	（期 首） 2023年 2月20日	円 6,032	% —	340.04	% —	% 94.9
	2月末	6,112	1.3	344.87	1.4	93.5
	（期 末） 2023年 3月20日	5,906	△2.1	334.33	△1.7	93.5
第235期	（期 首） 2023年 3月20日	5,876	—	334.33	—	93.5
	3月末	5,984	1.8	339.25	1.5	93.9
	（期 末） 2023年 4月20日	6,055	3.0	342.50	2.4	94.4
第236期	（期 首） 2023年 4月20日	6,025	—	342.50	—	94.4
	4月末	6,017	△0.1	341.98	△0.2	94.3
	（期 末） 2023年 5月22日	6,147	2.0	349.52	2.0	93.6
第237期	（期 首） 2023年 5月22日	6,117	—	349.52	—	93.6
	5月末	6,199	1.3	356.03	1.9	96.1
	（期 末） 2023年 6月20日	6,412	4.8	368.23	5.4	95.2
第238期	（期 首） 2023年 6月20日	6,382	—	368.23	—	95.2
	6月末	6,512	2.0	376.55	2.3	94.5
	（期 末） 2023年 7月20日	6,363	△0.3	369.84	0.4	0.7
第239期	（期 首） 2023年 7月20日	6,333	—	369.84	—	0.7
	7月末	6,386	0.8	373.02	0.9	—
	（償 還 日） 2023年 8月21日	（償還価額） 6,487.00	2.4	374.83	1.3	—

※期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

設定以来の運用状況(設定日(2003年9月2日)から償還日(2023年8月21日)まで)

設定以来の基準価額の推移



前作成期までの運用の概略(設定日(2003年9月2日)から第39作成期末(2023年2月20日)まで)

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、主として新興国の政府および政府機関等の発行する米ドル建ての債券を中心に実質的に投資しました。

上昇要因

- ・ 2003年9月から2007年6月にかけて、新興国債券市場をはじめとするクレジット市場のスプレッド縮小基調が続き上昇したこと
- ・ 2008年12月から2015年5月にかけて、リーマンショック後の米国をはじめとする主要国の金融緩和が新興国債券市場にとって追い風となり上昇したこと
- ・ 2016年6月から2020年3月にかけて、リスクオフ局面が終了しクレジット市場へ投資家の資金回帰が続いた結果、新興国債券市場が上昇したこと
- ・ 2020年4月から2022年6月にかけて、コロナショック後の金融緩和が新興国債券市場の追い風となり上昇したこと

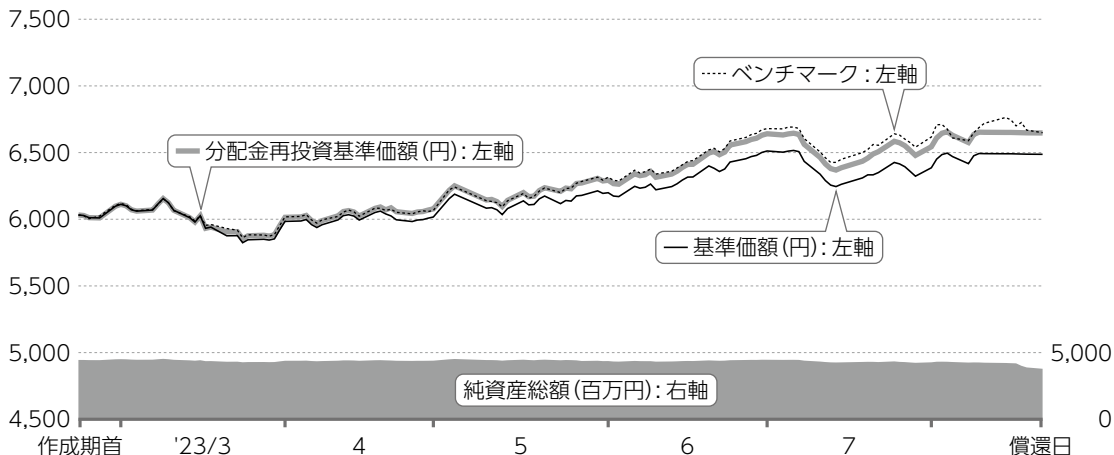
下落要因

- ・ 2008年8月から2008年12月にかけて、リーマンショックが発生し新興国債券市場をはじめとするリスク資産が急落したこと
- ・ 2015年5月から2016年6月にかけて、中国経済減速を背景に原油をはじめとする商品価格が下落し、新興国債券市場の重荷となったこと
- ・ 2020年3月から2020年4月にかけて、コロナショックの発生により新興国債券市場をはじめとするリスク資産が急落したこと

# 1 運用経過

基準価額等の推移について（2023年2月21日から2023年8月21日まで）

## 基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額およびベンチマークは、作成期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

作成期首	6,032円
償還日	6,487円00銭 (当作成期既払分配金150円(税引前))
騰落率	+10.2% (分配金再投資ベース)

## 分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドのベンチマークは、JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル・ダイバーシファイド(円換算ベース)です。

※指数の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

### 基準価額の主な変動要因（2023年2月21日から2023年8月21日まで）

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、主として新興国の政府および政府機関等の発行する米ドル建ての債券を中心に実質的に投資しました。

#### 上昇要因

- コロンビアは、インフレ上昇圧力が緩和したことが好感され上昇したこと
- エルサルバドルは、C A B E I（中央アメリカ経済統合銀行）から融資を受けることで合意し、2023年償還債の元利払いが発表されたことが好感され上昇したこと

#### 下落要因

- エジプトは、信用格付けが引き下げられ下落したこと
- カタールは、信用格付けが高く金利感応度が高いため金利上昇に伴い下落したこと

投資環境について（2023年2月21日から2023年8月21日まで）

エマージング債券市場は上昇しました。為替市場では、米ドルは円に対して上昇し、ほとんどの新興国通貨も対円で上昇しました。

## エマージング債券市場

期間における新興国債券市場は上昇しました。

インフレ減速の兆しが見え始めたことで投資家心理が改善したことなどから、ベース金利である米国国債利回りは上昇したものの、クレジットスプレッド（先進国債に対する上乗せ金利）は大幅に縮小しました。

IMF（国際通貨基金）は2023年の世界経済見通しを小幅に上方修正し、FRB（米連邦準備制度理事会）はインフレ緩和の兆しを受けて利上げペースを減速させました。ユーロ圏のインフレ率は減速したものの高水準を維持したため、ECB（欧州中央銀行）は利上げを継続しました。

中国政府は全国人民代表大会（全人代）で成長率目標を5%前後に設定し、中国人民銀行（中央銀行）は数回の利下げを実施したものの、景気刺激策は市場の期待を下回るものでした。

新興国の中央銀行による利上げペースは総じて鈍化し、ブラジル、チリ、ウルグアイなど、いくつかの中央銀行は利下げに転じました。トルコ中央銀行は新しい経済

チームの下で利上げ幅を市場予想より小幅にとどめました。

## 為替市場

米ドル・円は、日本銀行が7月に指値オペ（日銀が指定する利回りで国債を無制限に買い入れるオペ）の水準を0.5%から1.0%へ引き上げたことがサプライズとなり、一時的に円高に振れる局面もありましたが、マイナス金利政策を維持したことや、FRBが利上げを継続する姿勢を示したことから、期間を通じて上昇基調が続きました。米ドル高・円安基調を受けてほとんどの新興国通貨は対円で上昇しました。

ポートフォリオについて（2023年2月21日から2023年8月21日まで）

## 当ファンド

期初より主要投資対象である「エマージング債券マザーファンド」を高位に組み入れました。ただし、償還前には現金化しました。

## エマージング債券マザーファンド

メキシコは引き続きポートフォリオの最大のオーバーウェイトを維持しましたが、オーバーウェイト幅を縮小しました。またコートジボワール、ドミニカ共和国、セネガルなどのフロンティア国（経済成長率は高いものの小規模で流動性が低い国）は利回りが高く、ファンダメンタルズ（経済の基礎的条件）も良好であるため、引き続きオーバーウェイトとしました。

一方で、フロンティア国全体のエクスポージャーは縮小しました。中国はパンデミック（世界的大流行）規制緩和後の成長回復が失速し、米中間の緊張が高まったため、最大のアンダーウェイトを維持しました。アラブ首長国連邦、サウジアラビア、マレーシアなど、低利回りで高格付けの国債は金利感応度が高く投資機会が限られるためアンダーウェイトを維持しましたが、ポーランドはウェイトを引き上げました。

ただし、償還前には現金化しました。

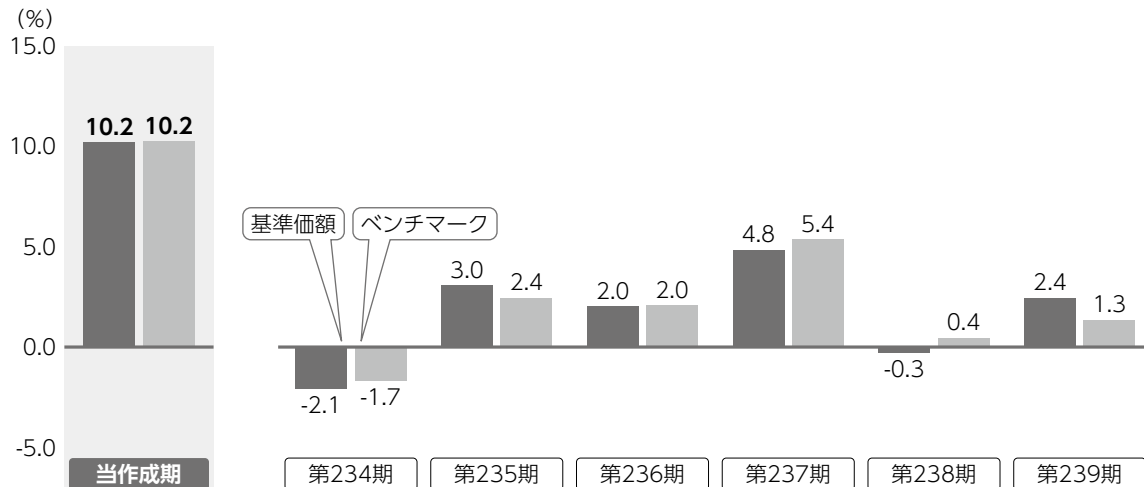


ベンチマークとの差異について（2023年2月21日から2023年8月21日まで）

当ファンドは、JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル・ダイバーシファイド（円換算ベース）をベンチマークとしています。

記載のグラフは、基準価額とベンチマークの騰落率の対比です。

基準価額とベンチマークの騰落率対比



※当作成期の基準価額は分配金再投資ベース、各期は分配金（税引前）込み。

## ベンチマークとの差異の状況および要因

基準価額の騰落率は+10.2%（分配金再投資ベース）となり、ベンチマークの騰落率+10.2%とほぼ同程度になりました。

### プラス要因

- エジプトは、信用格付けが引き下げられて下落し、アンダーウェイトの資産配分がプラスに寄与したこと
- スリランカは、中央銀行が公表した債務再編計画が債権者に有利な内容であったことが好感され上昇し、オーバーウェイトの資産配分がプラスに寄与したこと
- アラブ首長国連邦は、長期国債のアンダーウェイトと社債の銘柄選択が奏功したこと

### マイナス要因

- ウクライナは、ロシアの内紛がウクライナに有利に働くとの楽観論からアウトパフォームし、アンダーウェイトの資産配分がマイナスに作用したこと
- ナイジェリアは、高利回り債への需要と前向きな経済改革が好感され上昇し、アンダーウェイトの資産配分がマイナスに作用したこと
- ガーナは、IMFとの資金調達合意に支えられて上昇し、アンダーウェイトの資産配分が相対リターンにマイナスに作用したこと

分配金について（2023年2月21日から2023年8月21日まで）

期間の1万口当たりの分配金（税引前）は、基準価額水準等を勘案し、以下の通りといたしました。

留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたしました。

なお、第239期については、償還のため該当事項はございません。

（単位：円、1万口当たり、税引前）

項目	第234期	第235期	第236期	第237期	第238期
当期分配金	30	30	30	30	30
（対基準価額比率）	(0.51%)	(0.50%)	(0.49%)	(0.47%)	(0.47%)
当期の収益	18	27	27	27	20
当期の収益以外	11	2	2	2	9
翌期繰越分配対象額	1,527	1,525	1,523	1,521	1,511

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

※「対基準価額比率」は、「当期分配金」（税引前）の期末基準価額（分配金（税引前）込み）に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

## 2 今後の運用方針

償還のため、該当事項はございません。

## 3 お知らせ

約款変更について

該当事項はございません。

## エマージング債券ファンド（毎月分配型）

### 1万口当たりの費用明細（2023年2月21日から2023年8月21日まで）

項 目	金額	比率	項目の概要
<b>(a) 信 託 報 酬</b>	<b>49円</b>	<b>0.798%</b>	<b>信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数／年日数)</b> <b>期中の平均基準価額は6,194円です。</b>
（投 信 会 社）	(24)	(0.383)	投信会社:ファンド運用の指図等の対価
（販 売 会 社）	(24)	(0.383)	販売会社:交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(2)	(0.032)	受託会社:ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
<b>(b) 売買委託手数料</b>	<b>－</b>	<b>－</b>	<b>売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数</b> 売買委託手数料:有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株 式）	(－)	(－)	
（先物・オプション）	(－)	(－)	
（投資信託証券）	(－)	(－)	
<b>(c) 有価証券取引税</b>	<b>－</b>	<b>－</b>	<b>有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数</b> 有価証券取引税:有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（株 式）	(－)	(－)	
（公 社 債）	(－)	(－)	
（投資信託証券）	(－)	(－)	
<b>(d) そ の 他 費 用</b>	<b>2</b>	<b>0.030</b>	<b>その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数</b>
（保 管 費 用）	(2)	(0.030)	保管費用:海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用
（監 査 費 用）	(－)	(－)	監査費用:監査法人に支払うファンドの監査費用
（そ の 他）	(0)	(0.000)	そ の 他:信託事務の処理等に要するその他費用
<b>合 計</b>	<b>51</b>	<b>0.828</b>	

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

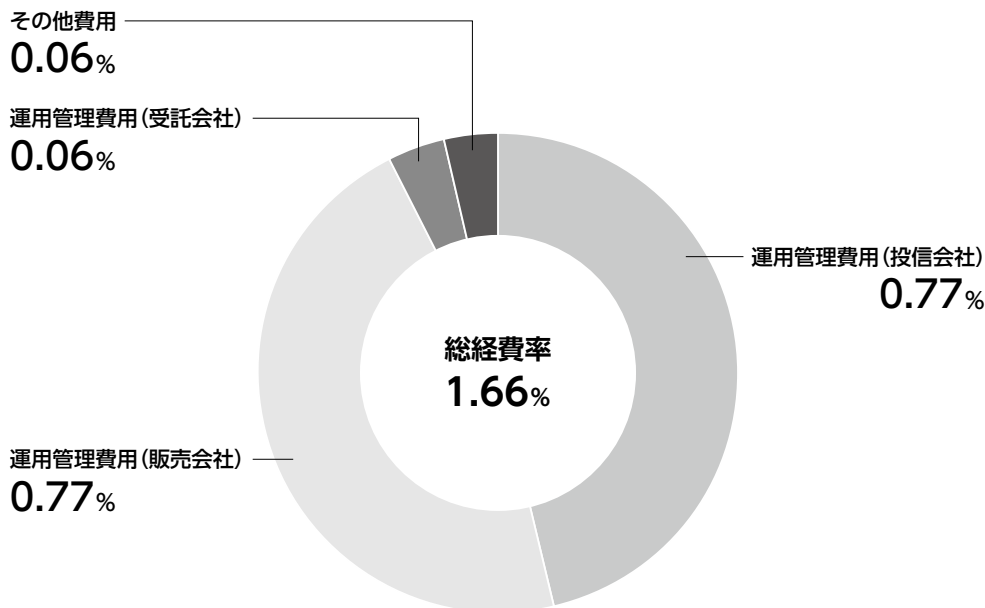
※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。



## 参考情報 総経費率（年率換算）



※各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

※各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。

※上記の前提条件で算出しているため、「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。なお、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率換算)は1.66%です。

## エマージング債券ファンド（毎月分配型）

### ■ 当作成期中の売買及び取引の状況（2023年2月21日から2023年8月21日まで）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

	当 作 成 期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
エマージング債券マザーファンド	千口 3,576	千円 13,027	千口 1,247,962	千円 4,919,027

### ■ 利害関係人との取引状況等（2023年2月21日から2023年8月21日まで）

当作成期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

### ■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2023年2月21日から2023年8月21日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

### ■ 組入れ資産の明細（2023年8月21日現在）

親投資信託残高

種 類	作 成 期 首		作 成 期 末	
	口 数	金 額	口 数	評 価 額
エマージング債券マザーファンド	千口 1,244,386		千口 -	千円 -

## エマージング債券ファンド（毎月分配型）

### ■ 投資信託財産の構成

(2023年8月21日現在)

項 目	作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	千円 4,015,883	% 100.0
投 資 信 託 財 産 総 額	4,015,883	100.0

### ■ 資産、負債、元本及び基準価額または償還価額の状況

(2023年3月20日) (2023年4月20日) (2023年5月22日) (2023年6月20日) (2023年7月20日) (2023年8月21日)

項 目	第 234 期 末	第 235 期 末	第 236 期 末	第 237 期 末	第 238 期 末	償 還 時
<b>(A) 資 産</b>	<b>4,344,610,001円</b>	<b>4,434,677,401円</b>	<b>4,457,689,947円</b>	<b>4,438,503,176円</b>	<b>4,340,830,313円</b>	<b>4,015,883,654円</b>
コール・ローン等	2,678,712	2,693,263	2,712,048	2,768,282	2,859,175	4,015,883,654
エマージング債券 マザーファンド(評価額)	4,312,507,834	4,404,091,078	4,425,720,197	4,400,734,534	4,306,536,180	-
未 収 入 金	29,423,455	27,893,060	29,257,702	35,000,360	31,434,958	-
<b>(B) 負 債</b>	<b>30,282,769</b>	<b>27,881,847</b>	<b>32,983,575</b>	<b>37,592,125</b>	<b>34,019,906</b>	<b>228,114,521</b>
未払収益分配金	22,028,725	21,943,167	21,701,548	20,687,592	20,402,881	-
未払解約金	2,775,634	8,305	5,046,854	11,348,687	7,845,938	221,996,895
未払信託報酬	5,478,410	5,930,375	6,235,173	5,555,846	5,771,084	6,104,202
未 払 利 息	-	-	-	-	-	9,392
その他未払費用	-	-	-	-	3	4,032
<b>(C) 純資産総額(A-B)</b>	<b>4,314,327,232</b>	<b>4,406,795,554</b>	<b>4,424,706,372</b>	<b>4,400,911,051</b>	<b>4,306,810,407</b>	<b>3,787,769,133</b>
元 本	7,342,908,397	7,314,389,221	7,233,849,517	6,895,864,028	6,800,960,485	5,839,018,061
次期繰越損益金	△3,028,581,165	△2,907,593,667	△2,809,143,145	△2,494,952,977	△2,494,150,078	-
償還差損益金	-	-	-	-	-	△2,051,248,928
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>7,342,908,397口</b>	<b>7,314,389,221口</b>	<b>7,233,849,517口</b>	<b>6,895,864,028口</b>	<b>6,800,960,485口</b>	<b>5,839,018,061口</b>
1万口当たり基準価額(C/D)	5,876円	6,025円	6,117円	6,382円	6,333円	-
1万口当たり償還価額(C/D)	-	-	-	-	-	6,487円00銭

※当作成期における作成期首元本額7,375,488,816円、作成期中追加設定元本額37,736,323円、作成期中一部解約元本額1,574,207,078円です。

※上記表中の次期繰越損益金および償還差損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額（元本の欠損）となります。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額または償還価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

## エマージング債券ファンド（毎月分配型）

### ■ 損益の状況

〔自2023年2月21日〕  
〔至2023年3月20日〕
〔自2023年3月21日〕  
〔至2023年4月20日〕
〔自2023年4月21日〕  
〔至2023年5月22日〕
〔自2023年5月23日〕  
〔至2023年6月20日〕
〔自2023年6月21日〕  
〔至2023年7月20日〕
〔自2023年7月21日〕  
〔至2023年8月21日〕

項 目	第 234 期	第 235 期	第 236 期	第 237 期	第 238 期	第 239 期
(A) 配 当 等 收 益	△ 37円	△ 20円	△ 127円	△ 145円	△ 124円	△ 65,864円
受 取 利 息	1	2	-	-	8	1,517
支 払 利 息	△ 38	△ 22	△ 127	△ 145	△ 132	△ 67,381
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 87,217,787	137,094,170	94,370,682	209,182,971	△ 7,359,341	96,292,006
売 買 益	236,663	137,429,275	94,989,998	212,043,878	860,993	100,145,972
売 買 損	△ 87,454,450	△ 335,105	△ 619,316	△ 2,860,907	△ 8,220,334	△ 3,853,966
(C) 信 託 報 酬 等	△ 5,478,410	△ 5,930,375	△ 6,235,173	△ 5,555,846	△ 5,771,087	△ 6,108,234
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	△ 92,696,234	131,163,775	88,135,382	203,626,980	△ 13,130,552	90,117,908
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 149,783,429	△ 263,193,105	△ 152,150,315	△ 81,645,591	99,821,731	56,867,038
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 2,764,072,777	△ 2,753,621,170	△ 2,723,426,664	△ 2,596,246,774	△ 2,560,438,376	△ 2,198,233,874
(配当等相当額)	( 219,531,115)	( 219,667,207)	( 217,994,373)	( 208,493,879)	( 206,276,991)	( 177,664,822)
(売買損益相当額)	(△ 2,983,603,892)	(△ 2,973,288,377)	(△ 2,941,421,037)	(△ 2,804,740,653)	(△ 2,766,715,367)	(△ 2,375,898,696)
(G) 合 計 (D + E + F)	△ 3,006,552,440	△ 2,885,650,500	△ 2,787,441,597	△ 2,474,265,385	△ 2,473,747,197	△ 2,051,248,928
(H) 収 益 分 配 金	△ 22,028,725	△ 21,943,167	△ 21,701,548	△ 20,687,592	△ 20,402,881	-
次 期 繰 越 損 益 金 (G + H)	△ 3,028,581,165	△ 2,907,593,667	△ 2,809,143,145	△ 2,494,952,977	△ 2,494,150,078	-
追 加 信 託 差 損 益 金	△ 2,764,072,777	△ 2,753,621,170	△ 2,723,426,664	△ 2,596,246,774	△ 2,560,438,376	-
(配当等相当額)	( 219,537,242)	( 219,675,704)	( 217,998,872)	( 208,499,025)	( 206,282,383)	( - )
(売買損益相当額)	(△ 2,983,610,019)	(△ 2,973,296,874)	(△ 2,941,425,536)	(△ 2,804,745,799)	(△ 2,766,720,759)	( - )
償 還 差 損 益 金	-	-	-	-	-	△ 2,051,248,928
分 配 準 備 積 立 金	902,425,616	895,957,730	883,862,346	840,385,814	821,697,084	-
繰 越 損 益 金	△ 1,166,934,004	△ 1,049,930,227	△ 969,578,827	△ 739,092,017	△ 755,408,786	-

※有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

※株式投信の信託報酬等には消費税等相当額が含まれており、公社債投信には内訳の一部に消費税等相当額が含まれています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※投資信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用として、信託報酬の中から支弁している額は8,831,511円です。

※分配金の計算過程は以下の通りです。

	第 234 期	第 235 期	第 236 期	第 237 期	第 238 期
(a) 経費控除後の配当等収益	13,258,680円	19,962,641円	20,209,351円	19,187,889円	13,927,184円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	219,537,242	219,675,704	217,998,872	208,499,025	206,282,383
(d) 分配準備積立金	911,195,661	897,938,256	885,354,543	841,885,517	828,172,781
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	1,143,991,583	1,137,576,601	1,123,562,766	1,069,572,431	1,048,382,348
1万口当たり当期分配対象額	1,557.95	1,555.26	1,553.20	1,551.03	1,541.52
(f) 分配金	22,028,725	21,943,167	21,701,548	20,687,592	20,402,881
1万口当たり分配金	30	30	30	30	30



エマージング債券ファンド（毎月分配型）

■ 投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2003年9月2日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2023年8月21日		資産総額	4,015,883,654円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減又は追加信託	負債総額	228,114,521円
受益権口数	21,615,525,658口	5,839,018,061口	△15,776,507,597口	純資産総額	3,787,769,133円
元本額	21,615,525,658円	5,839,018,061円	△15,776,507,597円	受益権口数	5,839,018,061口
				1万口当たり償還金	6,487円00銭
毎計算期末の状況					
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1万口当たり分配金	
				金額	分配率
	円	円	円	円	%
第119期	20,490,184,639	13,167,790,268	6,426	30	0.30
第120期	20,329,946,380	13,526,570,302	6,654	30	0.30
第121期	20,095,026,154	13,275,887,614	6,607	30	0.30
第122期	19,895,662,270	13,090,020,066	6,579	30	0.30
第123期	19,353,397,469	13,225,523,897	6,834	30	0.30
第124期	18,989,819,522	13,013,036,353	6,853	30	0.30
第125期	18,861,705,653	12,566,963,886	6,663	30	0.30
第126期	18,726,835,512	12,690,284,588	6,777	30	0.30
第127期	18,443,310,020	12,809,790,745	6,945	30	0.30
第128期	18,211,228,354	12,738,413,303	6,995	30	0.30
第129期	17,942,279,809	12,696,343,462	7,076	30	0.30
第130期	17,724,590,920	12,485,425,977	7,044	30	0.30
第131期	17,392,966,996	12,420,269,657	7,141	30	0.30
第132期	17,083,989,217	12,608,892,270	7,381	30	0.30
第133期	16,889,605,094	12,152,083,544	7,195	30	0.30
第134期	16,495,968,610	13,015,091,659	7,890	30	0.30
第135期	16,285,788,205	12,641,372,884	7,762	30	0.30
第136期	16,156,774,429	12,365,774,947	7,654	30	0.30
第137期	16,001,954,790	12,443,959,069	7,777	30	0.30
第138期	15,843,077,159	12,350,318,331	7,795	30	0.30
第139期	15,580,954,192	12,312,382,912	7,902	30	0.30
第140期	15,471,068,803	12,315,620,643	7,960	30	0.30

エマージング債券ファンド（毎月分配型）

計 算 期	元 本 額	純 資 産 総 額	基 準 価 額	1 万 口 当 たり 分 配 金	
				金 額	分 配 率
	円	円	円	円	%
第 141 期	15,324,016,772	12,128,801,204	7,915	30	0.30
第 142 期	15,196,111,205	12,108,501,673	7,968	30	0.30
第 143 期	15,095,660,992	11,762,123,161	7,792	30	0.30
第 144 期	14,963,570,940	11,221,844,658	7,499	30	0.30
第 145 期	14,868,549,226	11,208,680,798	7,539	30	0.30
第 146 期	14,703,294,564	11,335,382,239	7,709	30	0.30
第 147 期	14,518,954,199	10,734,119,927	7,393	30	0.30
第 148 期	14,397,694,418	10,067,557,307	6,992	30	0.30
第 149 期	14,232,509,236	9,685,295,418	6,805	30	0.30
第 150 期	14,142,711,498	9,904,694,261	7,003	30	0.30
第 151 期	14,061,333,936	9,751,862,645	6,935	30	0.30
第 152 期	13,952,713,372	9,660,152,118	6,923	30	0.30
第 153 期	13,866,315,722	9,208,463,829	6,641	30	0.30
第 154 期	13,771,588,228	9,585,638,185	6,960	30	0.30
第 155 期	13,599,875,272	9,118,357,297	6,705	30	0.30
第 156 期	13,465,515,538	8,984,653,253	6,672	30	0.30
第 157 期	13,315,702,833	9,057,205,846	6,802	30	0.30
第 158 期	13,201,038,672	9,137,674,485	6,922	30	0.30
第 159 期	13,035,731,312	9,564,179,535	7,337	30	0.30
第 160 期	12,903,979,922	9,419,962,805	7,300	30	0.30
第 161 期	12,750,335,702	9,224,757,286	7,235	30	0.30
第 162 期	12,645,804,793	9,134,040,458	7,223	30	0.30
第 163 期	12,562,446,809	8,902,607,321	7,087	30	0.30
第 164 期	12,426,714,578	9,022,114,727	7,260	30	0.30
第 165 期	12,332,449,314	9,022,095,964	7,316	30	0.30
第 166 期	12,158,325,221	8,857,059,363	7,285	30	0.30
第 167 期	12,026,046,205	8,622,291,859	7,170	30	0.30
第 168 期	11,926,469,332	8,808,638,947	7,386	30	0.30
第 169 期	11,820,968,040	8,807,842,905	7,451	30	0.30
第 170 期	11,722,319,273	8,602,861,131	7,339	30	0.30
第 171 期	11,619,141,440	8,617,044,002	7,416	30	0.30

エマージング債券ファンド（毎月分配型）

計算期	元 本 額	純資産総額	基 準 価 額	1 万口当たり分配金	
				金 額	分 配 率
	円	円	円	円	%
第 172 期	11,514,332,502	8,356,814,444	7,258	30	0.30
第 173 期	11,472,437,613	7,852,714,949	6,845	30	0.30
第 174 期	11,421,847,748	7,700,682,715	6,742	30	0.30
第 175 期	11,321,567,152	7,721,042,747	6,820	30	0.30
第 176 期	11,270,280,913	7,692,721,454	6,826	30	0.30
第 177 期	11,132,923,649	7,354,801,038	6,606	30	0.30
第 178 期	11,076,856,901	7,655,098,849	6,911	30	0.30
第 179 期	10,970,941,060	7,285,286,333	6,641	30	0.30
第 180 期	10,864,703,990	7,323,274,375	6,740	30	0.30
第 181 期	10,715,430,768	7,213,879,696	6,732	30	0.30
第 182 期	10,670,632,488	7,078,894,011	6,634	30	0.30
第 183 期	10,582,587,683	7,052,964,515	6,665	30	0.30
第 184 期	10,558,350,762	6,986,330,577	6,617	30	0.30
第 185 期	10,478,204,851	7,064,197,362	6,742	30	0.30
第 186 期	10,365,919,944	7,118,016,693	6,867	30	0.30
第 187 期	10,591,788,131	7,290,215,694	6,883	30	0.30
第 188 期	10,568,046,074	7,113,577,734	6,731	30	0.30
第 189 期	10,511,382,903	7,108,657,674	6,763	30	0.30
第 190 期	10,428,480,620	7,171,889,990	6,877	30	0.30
第 191 期	10,402,835,442	6,937,965,998	6,669	30	0.30
第 192 期	10,310,977,882	6,997,496,745	6,786	30	0.30
第 193 期	10,225,776,860	6,930,188,631	6,777	30	0.30
第 194 期	10,103,821,900	6,786,747,820	6,717	30	0.30
第 195 期	10,009,213,833	6,880,571,681	6,874	30	0.30
第 196 期	9,969,258,515	7,000,527,455	7,022	30	0.30
第 197 期	9,822,642,173	7,030,982,142	7,158	30	0.30
第 198 期	9,398,787,372	5,311,272,094	5,651	30	0.30
第 199 期	9,344,830,860	5,454,599,240	5,837	30	0.30
第 200 期	9,300,671,938	5,529,673,085	5,945	30	0.30
第 201 期	9,259,897,186	5,800,096,188	6,264	30	0.30
第 202 期	9,241,115,106	5,868,557,093	6,350	30	0.30

エマージング債券ファンド（毎月分配型）

計算期	元 本 額	純資産総額	基 準 価 額	1 万口当たり分配金	
				金 額	分 配 率
	円	円	円	円	%
第 203 期	9,176,132,577	5,935,076,099	6,468	30	0.30
第 204 期	9,122,710,896	5,696,627,052	6,244	30	0.30
第 205 期	9,075,582,313	5,689,873,290	6,269	30	0.30
第 206 期	9,021,747,664	5,688,059,548	6,305	30	0.30
第 207 期	8,980,966,435	5,762,704,052	6,417	30	0.30
第 208 期	8,931,138,925	5,663,555,857	6,341	30	0.30
第 209 期	8,808,082,383	5,621,289,819	6,382	30	0.30
第 210 期	8,736,959,766	5,612,745,884	6,424	30	0.30
第 211 期	8,659,954,533	5,634,157,780	6,506	30	0.30
第 212 期	8,622,586,153	5,636,889,582	6,537	30	0.30
第 213 期	8,583,731,089	5,722,920,337	6,667	30	0.30
第 214 期	8,504,904,830	5,608,214,893	6,594	30	0.30
第 215 期	8,438,377,029	5,553,973,621	6,582	30	0.30
第 216 期	8,315,124,331	5,457,707,032	6,564	30	0.30
第 217 期	8,276,689,310	5,525,416,511	6,676	30	0.30
第 218 期	8,207,843,495	5,423,787,739	6,608	30	0.30
第 219 期	8,190,639,005	5,340,363,140	6,520	30	0.30
第 220 期	8,088,785,423	5,104,907,907	6,311	30	0.30
第 221 期	8,026,610,608	5,014,580,133	6,247	30	0.30
第 222 期	7,942,172,167	4,901,905,294	6,172	30	0.30
第 223 期	7,866,101,699	5,053,642,992	6,425	30	0.30
第 224 期	7,816,126,814	4,675,987,805	5,982	30	0.30
第 225 期	7,742,505,222	4,720,461,685	6,097	30	0.30
第 226 期	7,721,668,593	4,577,573,468	5,928	30	0.30
第 227 期	7,626,657,810	4,796,360,119	6,289	30	0.30
第 228 期	7,595,934,403	4,781,839,993	6,295	30	0.30
第 229 期	7,561,493,760	4,605,544,148	6,091	30	0.30
第 230 期	7,525,573,547	4,643,308,948	6,170	30	0.30
第 231 期	7,499,333,376	4,569,192,198	6,093	30	0.30
第 232 期	7,483,278,500	4,470,967,394	5,975	30	0.30
第 233 期	7,375,488,816	4,448,695,262	6,032	30	0.30

## エマージング債券ファンド（毎月分配型）

計 算 期	元 本 額	純 資 産 総 額	基 準 価 額	1 万 口 当 たり 分 配 金	
				金 額	分 配 率
	円	円	円	円	%
第 234 期	7,342,908,397	4,314,327,232	5,876	30	0.30
第 235 期	7,314,389,221	4,406,795,554	6,025	30	0.30
第 236 期	7,233,849,517	4,424,706,372	6,117	30	0.30
第 237 期	6,895,864,028	4,400,911,051	6,382	30	0.30
第 238 期	6,800,960,485	4,306,810,407	6,333	30	0.30

### ■ 分配金のお知らせ

1 万 口 当 たり 分 配 金（税引前）	第234期	第235期	第236期	第237期	第238期
		30円	30円	30円	30円

※分配金は、分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額「普通分配金」となり課税されます。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は下回る部分が「元本払戻金（特別分配金）」となり非課税、残りの部分が「普通分配金」となります。

上記のほか、投資信託財産の計算に関する規則第58条第1項各号に該当する事項はありません。

# エマージング債券マザーファンド

第40期（2023年2月21日から2023年8月18日まで）

信託期間	2003年9月2日から2023年8月18日まで
運用方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>■主として新興国の政府および政府機関等の発行する米ドル建ての債券を中心に投資を行うことにより、安定的かつ高水準の利息収益の確保と信託財産の長期的な成長をめざして運用を行います。</li> <li>■組入れ外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</li> <li>■運用の指図に関する権限をティー・ロウ・プライス・インターナショナル・リミテッドに委託します。</li> </ul>

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

## 最近5期の運用実績

決算期	基準価額		(ベンチマーク) JPモルガン・エマージング・マーケット・ ボンド・インデックス・グローバル・ ダイバーシファイド(円換算ベース)		公社 組入比率	純資 産額
	円	騰落率		騰落率		
36期 (2021年8月20日)	34,905	6.8%	340.18	6.1%	95.2%	5,553 百万円
37期 (2022年2月21日)	34,344	△1.6	334.82	△1.6	94.4	5,024
38期 (2022年8月22日)	35,887	4.5	344.75	3.0	93.9	4,793
39期 (2023年2月20日)	35,729	△0.4	340.04	△1.4	95.0	4,446
(償還日) 40期 (2023年8月18日)	(償還価額) 36,448.80	2.0	375.92	10.6	—	9

※ベンチマークは、当報告書作成時に知りえた情報をもとに当社が独自に計算し、設定時を100として、指数化しています。なお、基準価額の反映を考慮した日付の値を使用しています。

※指数の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

## エマージング債券マザーファンド

### ■ 当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		(ベンチマーク) JPモルガン・エマージング・マーケット・ ボンド・インデックス・グローバル・ ダイバーシファイド (円換算ベース)	騰 落 率	公 社 債 組 入 比 率
	円	%			
(期 首) 2023年 2月20日	35,729	—	340.04	—	95.0
2 月 末	36,217	1.4	344.87	1.4	93.5
3 月 末	35,688	△ 0.1	339.25	△ 0.2	93.9
4 月 末	36,107	1.1	341.98	0.6	94.3
5 月 末	37,434	4.8	356.03	4.7	96.1
6 月 末	39,562	10.7	376.55	10.7	94.3
7 月 末	39,032	9.2	373.02	9.7	—
(償 還 日) 2023年 8月18日	(償還価額) 36,448.80	2.0	375.92	10.6	—

※騰落率は期首比です。

設定以来の運用状況(設定日(2003年9月2日)から償還日(2023年8月18日)まで)

設定以来の基準価額の推移



前期までの運用の概略(設定日(2003年9月2日)から第39期末(2023年2月20日)まで)

主として新興国の政府および政府機関等の発行する米ドル建ての債券を中心に投資を行うことにより、安定的かつ高水準の利息収益の確保と信託財産の長期的な成長をめざして運用を行いました。

上昇要因

- ・ 2003年9月から2007年6月にかけて、新興国債券市場をはじめとするクレジット市場のスプレッド縮小基調が続き上昇したこと
- ・ 2008年12月から2015年5月にかけて、リーマンショック後の米国をはじめとする主要国の金融緩和が新興国債券市場にとって追い風となり上昇したこと
- ・ 2016年6月から2020年3月にかけて、リスクオフ局面が終了しクレジット市場へ投資家の資金回帰が続いた結果、新興国債券市場が上昇したこと
- ・ 2020年4月から2022年6月にかけて、コロナショック後の金融緩和が新興国債券市場の追い風となり上昇したこと

下落要因

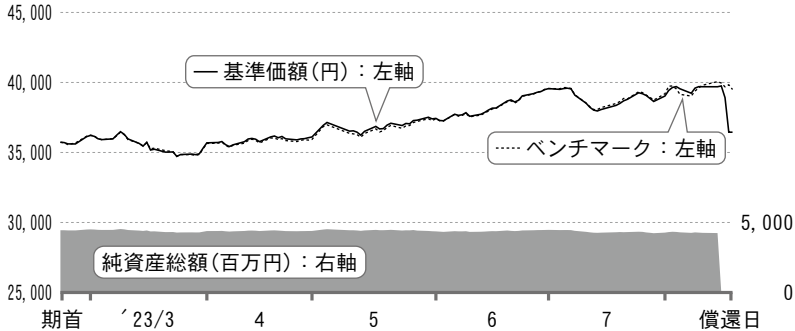
- ・ 2008年8月から2008年12月にかけて、リーマンショックが発生し新興国債券市場をはじめとするリスク資産が急落したこと
- ・ 2015年5月から2016年6月にかけて、中国経済減速を背景に原油をはじめとする商品価格が下落し、新興国債券市場の重荷となったこと
- ・ 2020年3月から2020年4月にかけて、コロナショックの発生により新興国債券市場をはじめとするリスク資産が急落したこと



# 1 運用経過

## ▶ 基準価額等の推移について（2023年2月21日から2023年8月18日まで）

### 基準価額等の推移



期首	35,729円
償還日	36,448円80銭
騰落率	+2.0%

※ベンチマークは、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

※当ファンドのベンチマークは、JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル・ダイバーシファイド（円換算ベース）です。

※指数の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

▶ 基準価額の主な変動要因（2023年2月21日から2023年8月18日まで）

主として新興国の政府および政府機関等の発行する米ドル建ての債券を中心に投資を行うことにより、安定的かつ高水準の利息収益の確保と信託財産の長期的な成長をめざして運用を行いました。

<p>上昇要因</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロンビアは、インフレ上昇圧力が緩和したことが好感され上昇したこと</li> <li>・エルサルバドルは、C A B E I（中央アメリカ経済統合銀行）から融資を受けることで合意し、2023年償還債の元利払いが発表されたことが好感され上昇したこと</li> </ul>
<p>下落要因</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エジプトは、信用格付けが引き下げられ下落したこと</li> <li>・カタールは、信用格付けが高く金利感応度が高いため金利上昇に伴い下落したこと</li> </ul>

### ▶ 投資環境について（2023年2月21日から2023年8月18日まで）

エマージング債券市場は上昇しました。為替市場では、米ドルは円に対して上昇し、ほとんどの新興国通貨も対円で上昇しました。

#### エマージング債券市場

期間における新興国債券市場は上昇しました。

インフレ減速の兆しが見え始めたことで投資家心理が改善したことなどから、ベース金利である米国国債利回りは上昇したものの、クレジットスプレッド（先進国債に対する上乗せ金利）は大幅に縮小しました。

I M F（国際通貨基金）は2023年の世界経済見通しを小幅に上方修正し、F R B（米連邦準備制度理事会）はインフレ緩和の兆しを受けて利上げペースを減速させました。ユーロ圏のインフレ率は減速したものの高水準を維持したため、E C B（欧州中央銀行）は利上げを継続しました。

中国政府は全国人民代表大会（全人代）で成長率目標を5%前後に設定し、中国人民銀行（中央銀行）は数回の利下げを実施したものの、景気刺激策は市場の期待を下回るものでした。

新興国の中央銀行による利上げペースは総じて鈍化し、ブラジル、チリ、ウルグアイなど、いくつかの中央銀行は利下げに転じました。トルコ中央銀行は新しい経済チームの下で利上げ幅を市場予想より小幅にとどめました。

#### 為替市場

米ドル・円は、日本銀行が7月に指値オペ（日銀が指定する利回りで国債を無制限に買い入れるオペ）の水準を0.5%から1.0%へ引き上げたことがサプライズとなり、一時的に円高に振れる局面もありましたが、マイナス金利政策を維持したことや、F R Bが利上げを継続する姿勢を示したことから、期間を通じて上昇基調が続きました。米ドル高・円安基調を受けてほとんどの新興国通貨は対円で上昇しました。

---

▶ **ポートフォリオについて (2023年2月21日から2023年8月18日まで)**

---

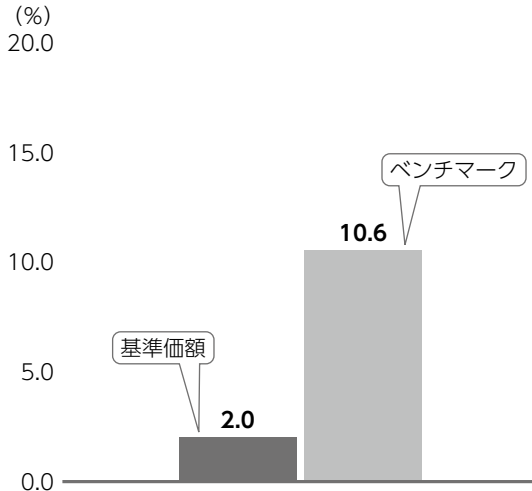
メキシコは引き続きポートフォリオの最大のオーバーウェイトを維持しましたが、オーバーウェイト幅を縮小しました。またコートジボワール、ドミニカ共和国、セネガルなどのフロンティア国（経済成長率は高いものの小規模で流動性が低い国）は利回りが高く、ファンダメンタルズ（経済の基礎的条件）も良好であるため、引き続きオーバーウェイトとしました。

一方で、フロンティア国全体のエクスポージャーは縮小しました。中国はパンデミック（世界的大流行）規制緩和後の成長回復が失速し、米中間の緊張が高まったため、最大のアンダーウェイトを維持しました。アラブ首長国連邦、サウジアラビア、マレーシアなど、低利回りで高格付けの国債は金利感応度が高く投資機会が限られるためアンダーウェイトを維持しましたが、ポーランドはウェイトを引き上げました。

ただし、償還前には現金化しました。

▶ ベンチマークとの差異について（2023年2月21日から2023年8月18日まで）

基準価額とベンチマークの騰落率対比



当ファンドは、J Pモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル・ダイバーシファイド（円換算ベース）をベンチマークとしています。

記載のグラフは、基準価額とベンチマークの騰落率の対比です。

【ベンチマークとの差異の状況および要因】

基準価額の騰落率は+2.0%となり、ベンチマークの騰落率+10.6%を8.6%下回りました。

<p>プラス要因</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エジプトは、信用格付けが引き下げられて下落し、アンダーウェイトの資産配分がプラスに寄与したこと</li> <li>・スリランカは、中央銀行が公表した債務再編計画が債権者に有利な内容であったことが好感され上昇し、オーバーウェイトの資産配分がプラスに寄与したこと</li> <li>・アラブ首長国連邦は、長期国債のアンダーウェイトと社債の銘柄選択が奏功したこと</li> </ul>
<p>マイナス要因</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウクライナは、ロシアの内紛がウクライナに有利に働くとの楽観論からアウトパフォーマンスし、アンダーウェイトの資産配分がマイナスに作用したこと</li> <li>・ナイジェリアは、高利回り債への需要と前向きな経済改革が好感され上昇し、アンダーウェイトの資産配分がマイナスに作用したこと</li> <li>・ガーナは、IMFとの資金調達合意に支えられて上昇し、アンダーウェイトの資産配分が相対リターンにマイナスに作用したこと</li> </ul>

## 2 今後の運用方針

償還のため、該当事項はございません。

## エマージング債券マザーファンド

### ■ 1 万口当たりの費用明細 (2023年 2 月21日から2023年 8 月18日まで)

項 目	金 額	比 率	項 目 の 概 要
(a) そ の 他 費 用	19円	0.050%	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 保管費用：海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送回国・資産の移転等に要する費用 そ の 他：信託事務の処理等に要するその他費用
（保 管 費 用）	(18)	(0.050)	
（そ の 他）	( 0)	(0.000)	
合 計	19	0.050	

期中の平均基準価額は37,257円です。

※期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

### ■ 当期中の売買及び取引の状況 (2023年 2 月21日から2023年 8 月18日まで)

#### 公社債

			買 付 額	売 付 額
外	ア メ リ カ	国 債 証 券	千アメリカ・ドル 834	千アメリカ・ドル 23,952 ( 6)
		特 殊 債 券	—	1,715
		社 債 券	—	6,174
	メ キ シ コ	国 債 証 券	千メキシコ・ペソ 1,293	千メキシコ・ペソ 3,564
		ユ ー ー 口	千ユーロ	千ユーロ
国	そ の 他	国 債 証 券	—	814

※金額は受渡し代金。（経過利子分は含まれておりません。）

※（ ）内は償還等による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

※社債券には新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

### ■ 利害関係人との取引状況等 (2023年 2 月21日から2023年 8 月18日まで)

当期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

### ■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2023年 2 月21日から2023年 8 月18日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

### ■ 組入れ資産の明細 (2023年 8 月18日現在)

償還日現在の組入れはありません。

# エマージング債券マザーファンド

## ■ 投資信託財産の構成

(2023年8月18日現在)

項 目	期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	9,317	100.0
投 資 信 託 財 産 総 額	9,317	100.0

## ■ 資産、負債、元本及び償還価額の状況

(2023年8月18日現在)

項 目	償 還 時
(A) 資 産	9,317,254円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	9,317,254
(B) 負 債	6,448
未 払 利 息	66
そ の 他 未 払 費 用	6,382
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	9,310,806
元 本	2,554,489
償 還 差 損 益 金	6,756,317
(D) 受 益 権 総 口 数	2,554,489口
1 万 口 当 たり 償 還 価 額 (C / D)	36,448円80銭

※当期における期首元本額1,244,386,038円、期中追加設定元本額3,576,569円、期中一部解約元本額1,245,408,118円です。

※上記表中の償還差損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※期末における元本の内訳は、エマージング債券ファンド(毎月分配型)2,554,489円です。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり償還価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

## ■ お知らせ

<約款変更について>

該当事項はございません。

## ■ 損益の状況

(自2023年2月21日 至2023年8月18日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	105,848,327円
受 取 利 息	105,922,931
そ の 他 収 益 金	2,205
支 払 利 息	△ 76,809
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	356,373,235
売 買 益	394,006,224
売 買 損	△ 37,632,989
(C) そ の 他 費 用 等	△ 2,248,820
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	459,972,742
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	3,201,640,693
(F) 解 約 差 損 益 金	△3,664,308,380
(G) 追 加 信 託 差 損 益 金	9,451,262
(H) 合 計 (D + E + F + G)	6,756,317
償 還 差 損 益 金 (H)	6,756,317

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。